■■■■■■ 風邪が一発で治る注射や薬は・・・？？？

本当にあるのか；現時点では、残念ながらインフルエンザ以外の風邪に対する特効薬はありません．風邪の原因を正しく理解して対処方法を間違えないようにしましょう．

風邪の原因は；普通のばい菌よりもずっと小さなウイルスが，鼻，のど，気管などに付いて炎症（鼻炎・咽頭炎・上気道炎・気管支炎など）を起こします．そのために鼻水，のどの痛み，せき，たん，発熱，頭痛，筋肉痛，関節痛などの症状がでます．さらに，そこへばい菌が付くと化膿性の咽頭炎や重症の肺炎などを引き起こします．そのため，時には体力の弱い子供や老人が死に至る事もあるのです．

薬の働き；インフルエンザ以外の風邪では、原因となっているウイルスに有効な薬はありません．したがって，風邪の治療とは対症療法といって風邪の症状を抑える薬（熱冷まし＝解熱剤，痛み止め・腫れ止め＝消炎鎮痛剤，咳止め＝鎮咳剤，鼻水止め＝抗ヒスタミン剤）や，弱った上気道に感染した細菌をやっつける抗生物質を服用する事です。

一回では治らない；一回だけ薬を飲んだり，注射をして熱が下がっても，病気がそれで消えてしまうわけではありません．薬や注射が切れるとまた熱が出てきます．ほかの症状も同じで，すっかり炎症がとれて病気が治るためには，少なくとも数日かかるのが普通です．

薬の形には；注射，口から飲む薬，座薬と言ってお尻に入れる薬などがありますが，薬の成分はほとんど同じです．要するに，薬の入り口が違っているだけで，体の中での働きにそれほど大きな差はありません．だから注射や座薬がよく効いて，飲み薬が効かないという事は理論上ありえないのです．

なぜ座薬、注射が；飲み薬のほかに座薬や注射があるのは，患者さんの状態によって，お薬の使い分けが必要だからです．吐いたり下痢がひどく口から薬や水分が飲めないときには注射が必要になります．注射は筋肉や静脈の中に直接薬を入れるので，口や肛門から入って胃腸の粘膜から吸収されるよりも早く効き目が現れる事は確かです．でもその分早く体の中から排泄されてしまうので，効き目が持続しにくいという欠点もあります．座薬の方が良く熱が下がるように思えるのは，口から飲んでいる薬の上に座薬が追加されるからで，口からの薬も座薬も注射も成分に大きな違いはありません．

大切なことは；誤解や先入観で薬が効いたとか，効かなかったとかの印象を持っている事がとても多いように思います．もし，一回の注射や点滴で風邪が治った経験があり，それが良く効く注射のためだと思っていたら，それは まちがいです．たまたま治る時期に注射したからだと理解する方が正しいと思います．また，栄養剤やドリンク剤を飲んでも何の効果もありません．風邪にかかったらしっかり休養をとり回復を待つ事が大切なのです．

インフルエンザでは；鼻からのぬぐい液で正確な診断が出来るようになりました．特別な内服薬、吸入薬、注射薬なども開発されたので、病気の期間を短くすることができます．早めの受診で早めの治療を受けると軽くて済むようになりました．

■■■■■■